



相沢あきこ

千歳市議会活動だより

相沢あきこ通信

2024/5/28発行

No.4

〒066-0028

千歳市花園3丁目9-11

電話 080-1895-7912

eメール ryoteniharu@gmail.com

～皆さん元気にお過ごしでしょうか～

“次世代半導体”生産拠点・工場～ラピダス社は、

千歳市美々地区において…来春に試作ライン稼働予定です。…

引き続き、注視していきます。皆さんも、ご注目ください。

半導体の生産工場では、一般的に排水に、人体にも、自然にも有害な物質が含まれる可能性が高いです。



千歳市内での土地開発などへの懸念

～名水百選・内別川

…市民の飲料水を工業・工場用水へ?～

来年春から、ラピダス社は試作ラインを稼働させる予定です。その際の用水は、私たち市民の上水道に使用している、内別川を水源とする素晴らしい水質の水を一定程度回す事で賄うものと聞いています。

水を使用しています。千歳市自慢の内別川の水源を工業用水に回す事で、名水百選にも選ばれている水を飲めない・使用できない市民が増える可能性があります。

現状、内別川の水だけでは市民の飲み水を確保できない状況で、これ以上の工業用水への転用は避けるべきです。



<完成予想図>

今回、ラピダス社の進出に伴い、関連企業など工場の用地を拡大して行くとのこと。その用水の水源はどこなのか心配しています。

これ以上、工業用水を使用する事は、私たち市民の飲料水源を逼迫させる可能性があるのではないかと考えています。

現状でも、内別川を水源とする上水だけでは足りず、市内の北部では恵庭の漁川を水源とする上

～千歳市行政の“他人事”のような態度に 怒りと驚きを感じています～

ラピダス社の量産ラインでの取水は、太平洋に注ぐ安平川を水源とし、排水は、千歳市の公共下水道を使い、千歳川・石狩川・日本海へ流す計画です。

石狩湾の漁業団体などは、違う川の水が千歳川を流れる事に懸念を持ち、北海道に対して「要望書」を提出していますが、取り上げるメディアはほとんどなく、市民が知る機会がありません。

私は、市に対し「半導体関連情報」を専用ホームページにてその種の住民要望や質問を公開するよう市議会で要望しましたが、市はそういった事を取り上げる事には後ろ向きでした。

私たちの市税が使われているホームページなのに、大変残念です。今後とも引き続き、市議会の場などで取り上げていきます。

近隣自治体の議員と意見交換会を開催しました。4月24日(水)・祝梅コミュニティセンターにて、石狩市・恵庭市・江別市・北広島

市・安平町の有志議員の皆さんと意見交換しました。

石狩市のある議員が「ラピダスについて」の状況の話しを伺いたいとの事で開催しました。ラピダス社の環境への影響について共有できた事で、大変有意義な意見交換となりました。

ラピダス社の排水は、工場内・下水処理場にて一定の処理はされますが、最終的には千歳川に放流する計画です。

そのため、千歳市だけではなく千歳川流域の自治体が一体となり、その対応に取り組む必要性を感じている中で、大変重要な近隣自治体の議員の皆さんが、精力的に取り組んでくれる事は大変ありがたい事です。

今後も、千歳市内だけに留まらない課題につきましては、多くの方々と情報交換などしていきます。

なお、千歳市の出前講座にも、私の講座「水の勉強会」を登録しましたので、ぜひご利用ください。



集まっていたいた、近隣自治体の議員の皆さん。偶然にも、全員女性でした。

太陽光発電への懸念

○ 北海道に限らず、日本各地でメガソーラー発電施設が設置されています。ソーラーパネルは、襟裳地方において、壊れた破片が民家の屋根や車に突き刺さるなど、人命に関わる可能性があった被害も報告されています。

そして、壊れたものが管理されずに火災を起こす事があるようです。放水による消火は、消防士が感電してしまう事から不可能なので、消火は非常に難しいようです。

○ この様な危険物を国は2016年に「建造物でない」とみなす。」と決定したため、消防法・建築法どちらの規制も受けず、現状、設置・建設は野放し状態となっています。このままでは、北海道中がメガソーラーだらけになるのでは、との危機感を持っています。

襟裳や釧路の状況を見て、千歳市内のメガソーラーをこれ以上増やさない事を目指す時期が来ているのではないのでしょうか。

○ 千歳市の支笏湖周辺は国立公園となっています。ここは現在、ソーラーパネル設置の動きはないものと思いますが、それ以外の場所では着々と設置・建設が進んでいます。

10年前にはなかったメガソーラー（規模は千kW = 1MW以上）は、2024年現在は15ヶ所、そして更なる計画もあるようです。それ以下の規模のものも、あまりに増え過ぎと感じています。



○ 国の無施策のままに、市や道が何も手立てを講じないでいけば、釧路湿原周辺のようにメガソーラーだらけになり、おそらく絶滅危惧種の全滅どころか、他の動植物の生存にも影響があるものと考えています。当然、私たち人間にも影響がないとは考えられません。

○ 太陽光パネルの材料には、セレンや鉛などの重金属が入っており、適切な管理が出来ない場合は、土壤汚染が発生する可能性が高いです。土壤汚染が地下水にいく事で、河川・海も汚染されます。市と道が手を取り合っの対策が、早急に必要と考えています。

